

## 12名中残るは2名

### 一 2005年度国立MSU入学生のその後 一

昨年11月訪問時、寮生と夕食をともにした時のことです。「ジョリーとジョベールがまだ学校に戻らない」と聞きました。後期授業開始からすでに2週間が過ぎています。どうしたのでしょうか？

翌日キルダタル村を訪ねジョリーに会うことができました。物静かな青年で、「MSUの授業についていけなかった。本当は看護助手コースで学びたかった」と無断退学の釈明をしました。まだCMIPスタッフには話してないというので、今がチャンスと少し離れた場所で村人の相談を受けていたディレクターのノイ神父のもとに行くように背を押しました。大して怒られずむしろ話を聞いてもらえたようです。

2005年度は、経費がかかるカレッジ奨学生を意欲と能力がある子どもに限定し、国立のMSU合格を条件とするという方針を現地に示した年です。学費は私立や専門学校の8分の1程度(年約5,000円。生活費や交通費は私立と同じで年約2万円)と安いMSUに入ってくればCMIPも助かります。当時のディレクター・ビック神父は、ハイスクール卒業生11名全員を難関のMSUに入学させてしまいました。スーパーで働きながら奨学金受給の機会を待っていた外部学生バネッサも加え、この年のMSUの1年生は12名でした。それが、このジョリーとジョベールの退学時で、残るはバネッサとメルリンの2名だけになってしまいました。

2006年度は、MSU限定の条件を見直して看護助手コースなどの専門学校生も奨学金支給対象にした結果、みな成績もよく、現時点で中退はゼロです。2007年度は優秀な学年で、5名がMSUに正規合格、後期に入った今も好成績を維持しています。

\* \* \* \* \*

2005年度生でMSUを中退した10名中6名の事例を紹介させていただきます。実りある人材育成支援に向けてご意見をお寄せ下さい。



- \* 【メラニー】CMIPが勧めた畜産コースになじめずに1年で退学。スーパーのパートを経て、現在はダバオ近郊の看護助手コースに在籍。
- \* 【エルビー】2005年組で成績は一番だったが、携帯所持などルール違反を重ねて(CMIP情報)1年で退学。村で代用教員を勤める。
- \* 【レオとフランキー】ハイレベルのMSUに当初からついていけず、CMIPも進路指導ミスを認めて2年制の専門学校に転籍させた。好きな電気や車両技術を学びこの3月卒業予定。
- \* 【リフィンとチェリル】3年生までがんばれたのだから、卒業も夢ではないと期待したが、昨年10月、それぞれ妊娠・結婚で中退。リフィンは親同士が決めた伝統的婚約による結婚。

### 卒業の次は、国家試験挑戦

この3月好成绩で初等教育科を卒業予定のエドウィン(MSU)、フランシス及びメグレリン(ともにホーリー・トリニティ)の次のステップは公立小学校教師採用の条件である国家試験合格です。補習費用10万円は「WE21 さいわい」の皆様より支援を受けることになりました。寮費・食費などをHANDSが応援します。

### MSU中退奨学生も活躍しています！



2年ぶりに訪ねたアトモロックでは、元奨学生のピルマに会いました。妊娠・結婚でMSUを中退。現在は2人の子どもの育児をしながら、アトモロック小の産休教員の代わりを務めています。教室をのぞいてみると、テンポの良い授業に低学年の子どもたちは楽しそうでした。教師は3月までで、4月からは村議会書記の仕事に専心するそうです。